



大正十一年十一月二日印刷 定價金拾錢  
 大正十一年十一月五日發行  
 東京市下巢鴨町宮下一四五五  
 編輯兼發行者 江尻 次郎  
 印刷者 太田 音 次郎  
 東京市神田區今川小路一ノ一  
 印刷所 同 工 社  
 東京府下巢鴨町字池袋  
 發行所 立教大學內武蔵野學會  
 電話小石川四〇九番

社説

體育の獎勵と出版界の革正

先頃新聞紙上に學生の殺害事件が報導されて居つた。而して其間一女性の關連するを知つた。現代學生の氣風悪化は否定することの出来ない事實である。かくの如き學生は早熟の結果かゝる事件を起すものである。現代の學生が概して早熟となるのは將して學生の罪か社會の罪か？吾人は其罪後者に存すと叫ぶものである。

今日の如く學生氣風が進行する時は將來如何に成り行くか吾人は國家のため痛嘆せざるを得ない。然らば之れを矯正する方法如何と云ふ問題が起る。吾人は運動熱の普及と淫猥なる出版物の防止を以て其急務中の最大急務となすものである。

ロシヤを救へ

飢饉!! 何んと凄蒼な言葉ではないか。古來吾人の祖先は幾度かこのいたましき慘害を被つたのであつた。然るに現在彼のロシヤの地に此の恐るべき大飢饉が襲來し二千萬といふ大多數の人口は將に喰ふに食なく飢えたばれんとして居る。

そはしかも彼等が唯一の寶庫と誇るヴォルガ河流域の大平原である。大飢饉のために殆んど其策の施す術もなくなる状態にある。強者は弱者の肉を喰つても其生を保たんとし親も子も兄弟も無き状態である。人々はやせおとろへ特に子供は如きは骨と皮とのみの有様である。パンを得んとする叫びは路上

社會經濟欄

マルクスとダーウイン

商雜科一 關 隆

自から進化的豫言者たる社會主義者は、ダーウインがエデンの園を否定した如く、マンチエスタール・マルクスは、さておいて、カール・マルクスは、文明と云ふものは環境に支配されるものであると一八四八年の共產黨員宣言書に、(ロシヤに於ける所謂、書物學者に持喚されて居る) 載せた。

彼は一八六七年に資本論の第一卷を出した。其の中で、ダーウインの神人同形説崇拜に對して反駁

にうちみちて居る。

人類は同胞である。この人類感情こそ今日の偉大なる人類文化を築きたる礎である人種は異りても人間として見たる時世界の凡てに國境はない。人類は凡て同胞である。

諸君が一杯のコーヒーを飲む時同胞の或る者は此の地球上で一片のパンを得ずして己れが子供の肉を喰つてもでも生きんとしてゐる我々は救はねばならぬ。一杯のコーヒーを節減せよ。然して美しい人道愛のために世界的正義の救濟運動を救げよ。

した。其れは平侯の奪略侵害、又は莫大な利を占むるを成功と考へる、根本的極悪な見物を持つてゐる、有産階級の似非紳士的態度や方便的暴奪に對しての、反感に歸因したので有つた。

マルクスは彼の本を讀んだ、一般人の有難き、豫言者と爲つた。彼は人々の要求して止まぬ點を、よくとらへて論證したにすぎぬ。そこで人々は彼に對して其れ以上何ものも求め様としなかつた。

今日のマルクス論なるものでは要するに必ずしも最上のものでは無い、そして半ば剽竊し、半ば文學上の好事家に依りて手作りにされた、彼の經濟學は社會主義者にとつては餘り有難いものではなかつた。

マルクスの文明に關する學説は彼の資本論と同様讀者の心に、新紀元を興へたバツクルの文明史に於いてすでに發表されて居つた。かく廣く讀まれたる、其の資本論の第一卷の中には、社會主義に對しては別になかつた。それはただ多くの勞働者、資本家をして彼マルクスは、事實工業的氣分にひたらず、大英博物館で青本赤本をひどく勉強したにすぎぬとしか想はせなかつた。

ダーウインに比較するに、彼は事實觀察に缺しい様に想はれた。

現代經濟組織の缺點

商雜科一 吹 春 薫

道具の發明によつて禽獸の域を脱した人間が、機械の發明された今日獨貧苦困窮より脱し能はぬと云ふは、一應は不思議な事である併し能く考へて見ると、不思議でも何んでもなく、實は有力な機械といふものは出來たけれども、其機械の生産力が今日では全く抑へられて仕舞つて、十分に其力を働かせずに居るのである。物を作り

即彼の資本論には、本以外の一つの事實もないし、又その議論は他人の何かの、パンフレットによつてヒントを得たにすぎない。それはそうとして、彼は有産階級を顯示し其の道德的威信をみとめなかつた。

彼はダーウインの様に耳によつて暫し世界意志と云ふ様なものをもつた事は、たしかで有つた。

マルクスは又ダーウインの所有しないものを持つた、それは則ち嫌惡、罵詈、諷刺や、人種的偏見に養はれた、あらゆる傷ましい性格の恐ろしい力を有する、或る和解しにくき純粹のユダヤ文學上の讓與品であつた。

最初アマカしたこの若い天才を苦しめたものは、全く彼にとつて不適當であつた、社會の組織であつた。最後に彼を若しめたものは罪人と貧困の字であつた。

かくしてマルクスとダーウインの兩者の間には、二つの相關連せる謬見を覆がえして、南人は新しい主義の豫言者となるに至つたのである。

出す力そのものは非常に殖えて居るけれども、其力が抑へられて十分に働きを現はさずに居るから、それで折角機械の發明された世の中でありながら、吾々一般の者の日常生活に必要な所謂生活必需品なるもの、生産が、著しく不足して居るのである。之を譬ふれば立派な暖爐を据ゑ付けながら、炭を各んで行火火ほどのものを入れ

大勢の人が之を圍んで冬の日寒さに震へつゝあるが如きものである。

或は此點を誤解して、今日は機械が出来た爲に、吾々の生活に必要な品物は已に豊富に造り出されて居るのだけども、其分配が悪いので、それが或少数の人の手に餘分に分捕られ、其が爲に残りの多數の人々は、喰ふものも喰はずに困つて居るのである。と云ふ風に考へて居る者もあらうが、其れは大きな間違ひである。

例へば今日の日本にでも、十分に食物を得て居らぬ者は澤山有らうと思ふ。勿論拙い物でも何でも腹一杯詰め込んで居れば、本人は別に饑しいとは思つて居らぬであらうが、併し醫者の眼から見て營養不足に陥つて居る者は、少からず居るだらうと思ふ。それならば其等の人々に當てがはるべき米の飯なり魚肉なり肉獸なりが、金持の爲に皆奪ひ取られて居るか云へば、無論金持は金持相應に贅澤な金の掛かつた食事をして居るであらうが、併しそれかと云うて、其等の金持が毎日一人して百人萬千人前の米や肉を食べて居る譯では無い。或は又冬の夜、寒さを防ぐに足るだけの夜具、衛生に差支ないだけの清潔な蒲團、其をさへ十分に備へてゐない家族も少くはあるまいと思ふが、其ならば金持の所へ行つて見ると、是等の貧乏人に渡る可き筈の木綿の夜具が、盡く分捕つて積み重ねてあるかと云へば、決してそんな譯のものではない。されば今日社會の人々が十分に生活の必需品を得る事か出

來なくて困つて居るのは澤山に品物は出来てゐるが其分配の仕方が悪い、と云ふが爲では無くて、實は初めから生活の必需品は十分に生産されて居らぬのである。

それならば何故、そつといふ大切な品がまた十分に出来て居らぬのに、都會に出て見ると、到る處の店頭に、様々の贅澤物や奢侈品が陳べられてあるかと云へば、實は其處に、今日の經濟組織の根本的缺點が在るのである。

蓋し今日の經濟社會は、需要あるものに限り之を供給するといふことを、原則として居るのである。茲に需要といふは、單に要求といふのと同じでは無い、一定の要求に資力が伴うて來て、始めて其が需要となるのである。例へば襦袢を纏うた乞食か吐餓さうな面附をしながら寶石店の飾窓を覗き込んで金指輪や時計に憧れて、其は單純な欲求で、購買力を伴うた需要といふものではない、而して今日の經濟組織の特徴は此の如き意味に於ける需要のみ顧み、斯かる需要なるものに限り之を生産するといふ點に在る、然らば其需要なるものは、今日の社會で如何なつて居るか云へば、生活必需品に對する需要よりも、奢侈贅澤品に對する需要の方が何時でも遙に強大優勢である。是れ多くの生活必需品が、先づ後廻しにされて、無用の贅澤品のみがどしどし生産されて來る所以である。

思ふ。さりながら如何に彼等の所得を増加したりとて、他方に於て富者の富が更に二層の速度を以て増加する以上、貧富の懸隔は益々甚しきを加へ、從うて天下の生産力が奢侈贅澤品の産出に吸収されるの弊は、敢て是が爲に匡正されること無く、其結果縱ひ貧乏人の貨幣所得は多少宛増加することありとも、生活必需品の価格は更に其以上の速度を以て騰貴し彼等の生活は却て苦しくなるばかりであらう。

之を要するに、今日生活の必需品が十分に生産されて來ぬのは天下の生産力が奢侈贅澤品の産出の爲に奪ひ去られつゝあるが爲である。多數貧民の需要に供すべき生活の必需品は、少し餘分に造ると直に相場が下がつて儲けが減るか、事業家は態と其生産力を抑へて居るのである、而して余の見るところに依ると、之が今日文明諸國に於て多數の人々の貧乏に苦しみつゝある經濟組織上の主要原因である。

産額が不十分なのは、社會に貧乏人が多からだと云ふ事になる則ち何故貧乏人が多いかと云へば生活必需品の生産が足らぬのだと云ひ何故生活必需品の生産が足らぬかと云へば、貧乏人が多からだと云つて居るので、何んだか私は手品を使つて、この最難關を誤魔化しながら抜け出たやうに見える、併しこれは私の議論か循環して居るのではなくて、貧乏と云ふ言葉に二様の意味があるのでそれを混同して使ふと、こんな云ひ表しに爲つて仕舞ふのである。即ち一は絶對的の貧乏を意味し、他は相對的の貧乏を意味するのである。兎も角以上述ぶる所に依つて考ふれば、貧乏問題は、一見すれば分配論に局限されたる問題の如くにして、實は生産問題と密接なる關係を有するものなる事を、看取するに足るであらう。思ふに世上社會問題を論ずるもの、住々之を以て單純に富の分配に關する問題を爲しその深く現時の生産組織と連絡する所あるを看過する者頗る多し、是れ余が如上の點を力説せし所以である。

### 文化に目覺めたる現代人の覺悟

商部豫科一 鈴 木

現代社會を瞥見するに文明時代特に物質萬能時代は徐るに帳を下して時代の要求たる文化時代となつて來た事は疑ひ無い事實であるかの文明の利機を網羅した所の歌洲戰爭は著しく世界の文明に貢獻したとは言へそれと同時に又文明の破壊者として物質文明の最後の最も痛ましい一幕を此の世に演じたに過ぎなかつた。何故なれば大戦以前には物質萬能時代に在つて物質文明の壓迫を受けて社會人土からは殆んど問題にされて居なかつた所の精神の文明が戦後俄然人心をして物質文明の域より脱し精神文明の世界に入らしめた、而して全社會はそれに依つて人間生活には物質上の生活以外の方面に精神生活が在ると言ふ事を痛切に感じて來たからである。其處で世界は初めて物質以外に新たに精神方面を加へて所謂文化生活なる物

扱て此の如く論じ來る時は、私の議論は何時の間にか循環したやうである。何故といふに、私は最初、今日何故貧乏人が多いかと云へば、其は生活必需品の生産額が足らぬからだと云つた、然るに更に進んで、何故生活必需品の生産額が十分に爲らぬかと尋ねられると、其は欲しいと思つて居る人は澤山あつても、其人達が十分な資力を有つて居らぬからだと答へた所が十分に資力を有つて居らぬ者は則ち貧乏人であるから、つまり私の説によると、生活必需品の生

一九二一年の

新形學生帽子

立教大學 指定御用

濱田帽子店

上手で値段の安い

これが弊店の特色

師範 前迄 松田寫真館

らしい事を平氣で言ひ散らして居る。神聖なる可き我が現代思潮が荷しくも物質萬能の煌かな夜會の華を夢みて居る所の無頓着な人々に依つて誤つて宣傳される事は實に遺憾とする所である。

然らば文化生活とは如何なる物であらうか。先者の言ふ如く一文の利機を出来るだけ多く利用せし生活にて盡されて居るだらうか、否あらず。人間が文化生活を營むには文明の利機を利用せずには一日と雖も能はざる事なれば矢張り物質文明も大いに必要ではあれど文化と文明と考へ違ひして依然として所謂文明の利機の奴隷となつて居ては文化の意義に全然悖る事は言を待つ迄も無い。次に時間の經濟云々も矢張り文化生活の一部の意義であるけれども其の全部を語つて居る物では無い、上の二つは共に其の心髓に觸れて居ないと言ふのは精神的方面を全然忘却して居るのである。

文化生活とは即人間の個性に従ひ人格の修養を主眼とし出来るだけ文明の利機を利用して時間及び物質上の經濟を圖る生活を言ふので文化生活にして精神的方面を取去すれば徹頭徹尾物質文明に基づける生活と何ぞ異ならん、實に五十歩百歩の差に過ぎない。

現代に於いて萬一心的方面を顧みない所の彼の無責任な人々に依つてのみ文化の宣傳が左右される物とすれば我國家は社會的に大いに危険な立場に置かれると言つても敢へて過言では無い。何故なれば試みに彼の獨逸を見よ、大戦前は物質文明に於いては他の文明國

と雖も遙かに彼には及ばなかつた然るに餘りに物質萬能を唱へ従つて物質文明に心酔した結果としては恐る可き國家の破滅を以て報いられたでは無いか。又内にしては我現代社會を見よ。其處には是まはしい個人的犯罪が數知れず在るではないか、實に人格的に個人の破滅である。大にしても小にしては彼等の物質方面にのみ馳せて心的方面を蔑ろにした結果が即國家及び各個人の破滅を來したのである。人間は總て物質に倦くれば精神上に不満を感じる物である。其處で初めて人間らしい生活を爲さうと希ふので之れが即文化生活を生み出した第一の原因である。か

るが故に我々は大きい心的方面を考慮する必要に迫られて居る。即人格の完全を前提とした所の社會一般に一貫せる教育が無ければならない。抑々人間なる物は非常に自由に出來て居る。少なくとも人間として行動の出來る範圍内に於いては殆んど絶對的自由を有して居る。例へば如何に不善なる事にせよ又賤しい事にせよ心に其れを爲すだけの意志さへ在れば如何なる事でも爲す事が出来るし又爲さなくとも良いと言ふ所謂絶對的自由を附與されて居る。人間に此の自由が在る限り悪は必らず存在し従つて人格的及び性格的破産と言ふ事も容易な可能性を持つて居るのは疑ひ無い事實である。此處で初めて惡の防禦策として道德が有り法律が有るので自由には惡が付き物であると同時に自由には責任が必らず伴ふのである。

世界の趨勢に鑑み國民生活の向上を圖り一般社會に文化なる意味を徹底せしめむとせば其處に宣傳の必要が生じて來る。然も其の宣傳は國民教育の充實を前提とした所の物で無ければならない、そして國民教育は各個人の自由意志を尊重し而して自由と責任との關係を明白ならしめ大いに精神教育を徹底せしむるを目的としなければならぬ。

現代社會は斯る必要に迫られて居り乍らその爲しつゝある事は果して如何。人間は精神的にも又行為の上に自由で其の結果として犯罪の可能性を有すると言ふ事は認めて居るだらう、けれども其の犯罪の防禦策としては徒らに個人の自由を抑壓せむとのみ努めて居る即消極的方法を採つて國民を寧ろ過激な方向に導いて其の罪を過激に傾く方に負はして居る、何んと誤てる社會であらう。現代社會が理想的に國民を教育せむとせば徒らに他人の自由を蹂躪せず却て自由には必らず内外共に責任の隨なふ事を自覺せしめ道德感情と明かに大いに各人個性の發見を尊重する意味に於いて文化時代に相應はしい積極的精神教育が必要である。心的方面を離れ個人の自由を倦く迄抑壓せむとする教育ありとせば最も非文化的で又國民政策を誤るものである。

荷しくも世界の趨勢に後れず國家の歩みを列強と共にせむとせば要するに國民教育の完全を圖り健全な國民を造る可きである。戦後經營の益々多事多端なる今日文化時代に呼吸する現代人には

國家的内容充實と言ふ大問題が實に焦眉の急務として迫つて居る事を寸時も忘れてはならぬ。須らく現代人は机上の空論を廢して總てに自覺して其の實行に努む可きである。

### 校内輿論

學校内部及び學校に關連せる事實なら何んでも投書を歡迎します、眞面目な記事でない採用しません

▲廣いむさしの赤いゴソツクの校舎池袋の夕方は何んとも云はれない静けさだ大學の正門通りと裏門通を連絡する二間半の道路其處には貧弱な數本の樹木があるのみである概して我校内には樹木が少なう其上ゴソツクの校舎とて居るから校庭全部に渡つて何んともなく物たりないラフな感じを與へる。何んとか早く植木でも植えてもらひたい。

▲洋書の澤山あるので誇りとして居る母校の圖書館自由な立教大學の氣風とはまるで變つたいやな空氣が流れて居るもつと自山な空氣にかへてもらひたい同時に紳士的待遇をしてもらいたいとは俺ればかりの意見じゃあるまいて。

▲豫科の生徒が角帽をかぶると云ふ事は時代錯誤の一つだ。豫科のうちには矢張り丸帽で意氣充滿せる學生氣分であつて欲しい。

▲第一角帽と丸帽とは經濟上約一圓五十錢の差が生ずる諸君は若々しい學生が角帽かぶつた姿を見たら事があるだらうほんとに不似合なものだことに近來の如く角帽の價値降下せる時代にはよろしく角帽廢止の運動を起すべきだ。

### スポーツマン月

#### 日評

商學部豫科一年 北澤 君

立教競技部で誇る唯一の花形選手それは北澤君と誰れも云ふだらう、鼈甲眼鏡をかけた角刈の男性的な君の姿をグラウンドの上に發見する時私共はどれだけ立教のため心強いかな知れない。

過日の明治學院對校競技に於てフヒールドにトラツクに万丈の氣焔を上げてくれた。

君は今年明治中學を出た未來ある青年である。男性的な君のスタイルは凡ての人をチャームせねばおかない魅力がある。

日比谷公園の日本醫專運動會に六百米に三番を占め最近は千葉高等園藝學校の運動會に四百米に二番を占むる等實に君は立教競技部の花である。吾人は祈しき立教に君あるを嬉ぶと同時に折角君が壯健ならんことを祈りて筆を擱くものである。

次號は各部の選手の月且評を出来るだけ多く載せようと思つて居ります盛んに御投稿して下さい。

文藝欄

或る男のたより

杉田 未來

僕は三月の第一土曜の午後に住居を移した。とだけではわかるまいが...

青年會にゐた頃は晩六時から十時までは縛られてゐたし、晝間でも何かと臨時の用事を仰付けられて...

晩は五時を打つとテイブルをセツトする。そしてポテトの皮を削いたりコーヒを沸す準備をしたりしてゐる中に二人が歸つて来る。

には洗ふ皿の数が少し多くなる位のもの。此の間の晩など御主人様が皿を洗つてくれた。その晩は青年會でさる人が講演をすることに...

「だつてあなた、旦那様を買ふ様でいゝじやないの」と彼女の友人のひ子ははげますかの様に又問ふかの様に云つた。

かうして彼女は美しい人の顔——喜ばしげな顔を心に書きながら三度目のG街を訪れたのだつた...

若芽の萌え立つ頃から育つて来た二人のなかには、なつかしい紺青

ネツクタイ

關 隆

此の處女とも人妻とも一寸判じ難い風彩の彼女をみ極め様とするかの如くに。然し彼女の頬骨の奥にある、目は秋の入口の様にかゝやいて居た。

忙裏談天 二

野村 精一郎

居る女物の箱の手袋をソット取り上げてとみこみして居るのだつた。……が併し、彼女はその品の良否を細く調べ様と、するのでもなく、價格の如何を問ふでもなく、目はあらぬ空間をさまよつて居るのだつた。

美的瀟灑

所謂藝術的作品のある情欲的に露骨なる表現に接して、身ぶるひする程の壓悪や赫となる程のいまましさを感じたとなれば、それは單に情欲的實感を誘起せられたのみではなくて、實は反對に情欲を凍りし縮せしむべき複雑な自己批判的態度に迄追ひ込められたのである。

諸大學御用

會社名

原洋服店

芝區三田四國町二番地 電話高輪三三三二番

富貴軒

立教大學正門大通り

温たかい洋食が 皆様を待つて居ります

星ハリスク



雄辯にこの事を證據だてゝゐるであらう。兎も角もこれが、裏長屋の塵芥捨場にひよつくり立つて、其處ら一面に取散らかされた野菜の切はし、濡れた紙屑さてはぬらぬらと青びかりして匂ひすりまはる蛆虫をみた時の不快さとは本質的に相違してゐるものである

強い趣味性藝術性があるならば情欲的實感を挑發してすら、否それだから、その藝術はエフエクテイブなのだ、げに、純粹な實感そのものへの魅惑は、何の苦痛も供はぬ忘我そのものに他ならぬであらうから。

モーバサン、西鶴、ウエデキンド、北齋、ポドレー、そしてシヨパン等の異常な美的感激中に底流する濁流の洪水が、如何に彼等の作品を偉大にしたか、如何に力強くしたか、

おゝ、美的潤濁！

(一〇・十九)

愛の誤解

K 生

人間の深刻な愛は、浅い性の交渉などに表はれて来ない時がある。

愛だと思つても、愛の本體ではなく、愛の形を取つた、他の感情である場合がある。

深く考へずに、戀などを通して、愛を見る人は、この場合、愛の本質まで誤らしてしまふ恐れがある。

この誤解は、自身に深い人間的の愛の體驗があれば起らない事だと、私は思ふ。

ほんとうに、愛は誤解され易い。而して、曲解して居る人も、ずいぶん多いやうだ。

眞の愛は、自分の體驗した、愛のインスピレーションに立脚しなければならぬ。

こんなことは、私が云ふ迄もなく、誰れかですてに言つて居ることだらう。

この頃に、私の上に起つた、ある交渉から、しみじみ私に考へさせられたのである。

この一文を小泉君にさしぐ。

旅行雜感

武蔵野會旅行部特派員

し ん や

箱根の裏街道——其處は坦々とした里道だ宮城野村から御殿場に通る國道だ宮城野村を過ぎる頃から大涌谷の煙が左手に谷を隔て、立つのが見える、其の遙か西に所謂箱根山なる駒ヶ嶽や冠ヶ嶽が眺められる、其の國道を疲れた足を曳きづつて仙石原村に入つた時は秋の永からぬ陽は西に落ち様として居た、時々箱根から富士の紺野の秋色を探る風流子の一家族を乗せた乗合自動車砂塵を巻いて走る外は誰一人として通らない途中出會つたものは蜜柑畑の番小屋から谷を越して来た豆腐屋一人だつた。

第一日目の露營地は乙女峠の麓の姥ヶ茶屋として知られて居る仙石原村の西端の地を定めた。

疲勞のために我々四人のものは口もきかなかつた仙石原村に入つてかなり立つてから右手の松林の中に人の氣がするので思はず我々は立ち止つた……松林の中からは

二十五六の婦人が只一人頭に手拭を被つて出て来たどう見ても此の邊の婦人とは見へなかつたSが最

速姥ヶ茶屋までの道程を丁寧にたづねた、其の婦人は齒切れのよい東京辯であと半里位あると云つて

又反對の方の松林の中へ入つていつてしまつた、手には小さな籠の様なものを持つて居た。

\* \* \*

姥ヶ茶屋へ到いたのがかれこれ五時頃だつたらふそれから我々は

露營地の選定に取りかかつた只困つたことには此の邊は非常に水に遠いことだつた、それで我々は方々山の中腹を探したあげく街道に面した所に一軒の別荘を見付けた庭も一寸立派な家だつた、勿論縁側の雨戸はかたく閉してあつた臺所口の方が少々ばかり開いて居たので私とSは其の方へ廻つて今夜

一晚の水の使用を乞ひに行つたが六疊ばかりの部屋には一枚の單衣物がぬぎすて、ある他に何もなく呼んでも何の答もなかつた、Kの忠告の下に我々は見づ知らずの人の別荘の近所に露營するのは失禮と云ふので其處を立ち去つた。立ち去る時に私は臺所の釜の中を見下ろした、中にうどんの玉が三つ程玉のまゝになつて入つて居た。

之で見ても留守番が居ると云ふことがはつきり解つた、其の時私の頭の中にはさつき松林で出會つた婦人のことが浮んだ。

後になつて私のこうした想像が當つて居たことがわかつた、我々は仕方なく谷間まで下らなければならなくなつた、勿論谷間には充分な水もあるが其處を往復するのは約一里の損になるのだつたが今となつては仕方がなかつた、途中富士土屋ホテルのゴルフ場を通過

したゆるやかなスロープにやはらかい芝が群生して居るのをKは處女の胸の様だと形容して皆を笑はした、此のゴルフ場には皇太子殿下も毎夏御出になるさうだ、番小屋に六十の坂を越したと思はれる老爺が居て我々の此の谷間に下つて行く姿を見て微笑して居た。

(續)

干草

童謡(秋の夜)

K 生

思ひ出すのは夏のこと

明り窓のカーテンの

刺繍のいろと

つるされた

白い鸚鵡の銀の籠

窓の下には

赤と白

おしろいの花と金盞花

杜にひびく海鳴りと

大波小波が

よせかへす

黒い砂地の長いこと

思ひかへせば

いつの間に外は

わびしい雨が降り

電車の音が遠くなる

ひろつた

小さな貝殻で

「カタセノウミ」と

書いて見る

快樂

感謝せよ我が肉體よ。

確固として、敏捷な、激奮し易い

迅風や軟風の深くお前に觸れ行く

それから私の胸膈よ

私の大きな肺臓よ

海濱の長きに呼吸し、又は

山岳の巔に呼吸する……

おゝ

此の爽やかな美の祭日の朝よ。

清純な薔薇の花の頬を

美しい露滴が飾つてゐる。

小鳥らは、白くひらめく

よい兆せの様に我々の方へ舞へる。

(従舟)

青インク

カーンと、腹の底に、染込む様な音を立て、球が凄じ程澄んだ

秋空を、天馬の如くに、飛んで行く。外野手が、飛鳥の如くに馳る。ファインプレーが、演ぜられて、

四方の見物席からは、割れる様な拍手が起る。此頃の、立大チームの油乗りして来た事は、素晴らしいものだ。遠征前後の立教に、格

段の差異を、明白に認める事が出来る。然し裏面に選手苦心を、考へる時は、一層の敬虔の念を、

起さざるを得ぬ。秋季リーグ戦は今や火花を散らして戦ひつゝある

對法二回戦に於て、立教は勝つた。選手諸兄の努力が報いられたのだ

が然し數日後には決勝がある。又、法政ばかりが敵ぢやないのだ。し

てみると、まだまだ、油断なぞの出る所ではない。記者はこゝに、

満腔の熱誠を以つて、選手諸兄の奮闘を御願する。(記者)

十月二十一、二日の兩日、隅田川に於て舉行された漕艇協會レガ

ッタに付いて翌日の朝日新聞運動欄には、運動精神の發揮と題して

各大學、専門學校の奮闘を賞した

後、第一豫選に破れた拓大、日大等が浅い經驗をもつて、奮戦し、

思ふ様、運動精神の美を發揮した事や、又日大が百米突も遅れて捷まず、全コースを、漕ぎ切つたのは、拓大と共に、賞すべきである。讀者諸君!! 此の一文が我々に、果して、如何なるヒントを、與へた事だらうか。

(T.K.生)

原洋服店  
芝區三田四國町二番地  
電話高輪三三三二番

立教大學正門大通り  
富貴軒

星ハリ  
HOSHIS GINSENG QUINA WINE  
ホシ人參想那膏酒

學生欄

立教大學雄辯部

だより

辯論シーズンとなる。各大學の雄辯會活氣を呈す、本大學辯論部は十月十三日左の名士を招待し講演會を開催す。

大戦の歐洲諸國民に及ぼせる政治思想上の影響

朝日新聞記者 岡本鶴松氏  
本大學校友

間島旅行に就いて

朝日新聞記者 福田市平氏

越えて十月十九日左の名士を招待し再び名士講演會を開催す兩會とも盛會なりき。

灼熱の地をめぐる

日本植民地社長 内藤英雄氏  
通信社長

武器問題の真相

國民新聞記者 長谷川了氏

若き雄辯家に依りて我等は時局問題の幾分を知るを得た。かくの如き會合の度々ありて、我々の思想上に、知識上により新しき何物



本大學代表的スポーツマン

野村、北澤兩君の面影

かを與へることをよるこぶと同時  
に幹部の努力を感謝して止まな  
い。尙一層の奮勵を望むや切なり。  
都下各専門學校大學の雄辯聯盟  
の行事たる雄辯大會が各學校に於  
て開かれつゝある。本大學辯論部  
は左記辯士を派遣した。

- 十五日 拓大 川口大治君
- 十七日 日本大學 江尻 登君
- 廿二日 専修大學 小川重康君
- 廿八日 曹洞宗 空閑寛敏君
- 十一月十一日 宗教 今泉忠厚君
- 十一月十五日 明大 石川憲司君
- 未定 中央大學 堀江不惜君
- 十月 未開西地方 草場管六君

實社會研究會

記録

貴紙の御發刊を祝します。此度より實研の記録を載せて頂き度いと思ひます。第四回二十四日壬子製紙工場を見學しだ、同社は明治五年創立資本金五千五百圓、三井系の會社。先づ工場長より製造工程と原料の説明を聞き順次臭氣と塵垢に満ちた破布原料室を始めと、直徑十四尺の丸い蒸煮罐。ホ

レンダー(洗滌漂白機)ピーター、  
デヨルダンチエスト、スクリーン  
に次で三十五萬圓の偉大な抄紙機  
を見て其の巧妙なるに驚歎した。  
斷截、包装、荷造まで完備したも  
のだ、同工場の年産額二千三百萬  
听なりと、又同社の十條工場も見  
學した。此處は薬を原料とする最  
新式の立派な工場だつた。實際  
に就ての親切な説明には感謝の外  
はない。五時半深謝して辭去した。

立大對明治學院  
競技大會を見て

明治學院が餘りに弱すぎた爲め  
立大方面にとつてはあつてなかつた  
様に見受けられた。トラツクに又  
フィールドに何れの種目にしても學  
院の優勝に歸したものは無い。唯  
僅に二三種目のものに一等を取つ  
たのみで、それすら二三等は必ず  
立大の爲めに奪はれ結局同點と云  
ふ結果を示してゐる。其他は總て  
一二等を立大に譲り辛うじて三等  
に入るものが四五あつたのみ六對  
零と云ふのが數多見受けられた。

學院はジャンプに於て稍々秀で立  
大はトラツクとスロウキングに優  
れて居つた。以下各種目に就いて  
短評をして見やう。百米競走、立  
四、明二即ち六人のレースであつ  
た。立大の北澤君がスタートで一  
歩遅れ、同じく別府君のスタート  
が美事であつた外は一樣に出發し  
た。三〇米頃より別府君が遅れ立  
大野村君と學院松岡君と相並び北  
澤君之れに次いで居つた。ゴール  
インは松岡君、北澤君、野村君の  
順二百米、百米に惜しき敗をとつ  
た北澤君は此のゲームに於て會稽

の恥を雪がんと決心の膽を定め輕  
快なるスタートを切つた。又コー  
ナーに於ける君の力走は實に優秀  
な技倆を示し他を抜くこと數米敵  
をして愕然たらしめた。タイム二  
十四秒五分の三は見事なレコー  
ド。

四百米、最初より北澤君の力走  
は大いに功を奏しあの見事なレコ  
ードを作つたのは立大のためは大  
氣焔を吐いた。二着立大の齋藤君  
ば有望なるスプリンターとして大  
いに將來を屬望される。

八百米、六百米、立大眞山君の  
最後まで厳張り観てゐるから  
に氣持ちがよかつた。君がもう少  
し規則正しい練習をされたなら將  
來は怖るべき強ランナーとなられ  
たことは疑ひを容れない。千五百  
米に於て學院の村上君大いに奮闘  
し乍ら三着に下つたのは惜しかつ  
た。

トラツクにて立大側其大部分の  
點數を獲得したのが彼等の大勝利  
に歸した所以と思ふ。  
次にフィールドに於ては砲丸投  
槍投の外は兩學大接戦を演じた。  
砲丸投槍投のゲームは最初から  
先が見えてあつて終つた。此  
のゲームに學院の零敗は實に悲惨  
の感があつた。

破丸投、立大原澤君のフォーム  
は堂々たるものであるがまだ  
練習を要する。野村君は立大主  
將として大いに鮮かな技倆を示し  
てゐた。回盤投にて仁村君は練習  
の際と比較して甚だ思はしくない  
結果を見せたのは實に残念であつ  
た。今後とも自重して大いに努力  
された野村君のオールマイテ

には又驚くべきものがある。槍  
投に於ける笠原君のレコードは頗  
る鮮かであつた。スバルディング  
の槍を用ひたのは君の勝因で喜ぶ  
べきことである。學院側は此のゲ  
ーム頃より少なからずあせり初め  
た様であつた。

ジャンプに於ては兩學負けず劣  
らずの大白兵戰を演じた。野村主  
將が走高跳の際ラスト、トライア  
ルで跳んだのは甚だ美事、主將と  
して堂々たる貫録を示してゐる。  
四百米リレー、此のゲームは當  
然學院の勝利と目されたが四番目  
のボツクスに於けるバトン受渡の  
手違ひから該選手の轉んだ爲め之  
れ又學院の敗北に歸したことは同  
情に値する。

八百米リレー、案外平凡に立大  
の勝利となつた。  
さて總體に於いて立大側は最初  
より學院を壓するの感ありトラツ  
クにフフィールドに其點數の大部を  
占め殆んど學院の敵ではなかつた  
立大の爲め大いに祝賀すべきで  
ある。然し「勝つて兎の緒を締め  
よ」とか云ふ諺もある。今後も決  
して氣を緩むることなく過去に倍  
するの猛練習を積まれんことを希  
望する。聞く所に依れば來月早々  
拓大と再び雌雄を争ふとか。此の  
多事なゲーム、シーズンに於て斯  
る競技の行はるゝは斯界の爲め大  
いに喜ぶべき現象であつて選手諸  
君には日頃練習せる我腕の研を示  
すべき無上の好機會である。さら  
ば大いに努めて武藏野原頭に光輝  
ある月桂冠を冠かれんことを切に  
祈る。擲筆

求めらるゝまゝに

立教大學  
指定御用  
濱田帽子店

師範  
前迄  
松田寫真館

### 明治學院對立教 大學對校競技

一九二二、一〇、二五、和生

- 砲丸投 (一)原澤(立大) 三一尺六、
- (二)野村(立大)、(三)野々村(立大)
- 走幅飛 (一)北澤(立大)、一八呎四吋、
- (二)佐野(明學)、(三)東條(立大)
- 千五百米 (一)眞山(立大) 五分九秒五
- 分の二、(二)佐々木、(三)村上(明學)
- 立幅飛 (一)別府(立大) 九尺二寸、
- (二)野々村(立大)、(三)仁村(立大)
- 黄(立大)

- 百米 (一)松岡(明學) 十二秒五分の一
- (二)北澤(立大)、(三)野村(立大)
- 圓盤投 (一)野村(立大) 二五米三五、
- (二)仁村(立大)、(三)野村(第(立大))
- 四百米リレー 立大チーム、五十秒五
- 分の二

- 二百米 (一)北澤(立大) 二四秒五分の一
- (二)野村(立大)、(三)中里(明學)
- 立高飛 (一)永橋(明學) 四呎、(二)野
- 村、北澤、別府(立大)
- 四百米 (一)北澤(立大) 五十五秒五分
- 分の二、(二)齋藤(立大)、(三)中里(明
- 學)

- 走高食 (一)野村(立大) 一米五三、
- (二)永橋(立大)、中里(明學)
- 八百米 (一)眞山(立大) 一分二六秒五
- 分の二、(二)佐々木(立大)、三村上
- (明學)

- 棒高飛 (一)佐野(明學) 八尺、(二)眞
- 山(立大)、(三)黄(立大)
- 八百米リレー 立大チーム、一分四十四
- 秒五分の一
- 合計 立大六七對明學一七
- 來月十八日頃拓大と對校競技行はる、
- 豫定との事。

### 庭球部主催

中等學校庭球大會記事

其他に就いて 研 石  
秋晴の十月十七日神嘗祭の當日

第二回中等學校庭球大會を開いた。參加校四十七校に達して豫想外の成果を収め得た。が然し中等學校の庭球選手の技が數年前に比し大分劣つて來た様な氣がしてならぬ。これは自分丈の意見でもない様だ。果して然りとすればこれは何に原因するのであるか、自分はこれに就いて左の様な意見を持つてゐる。

一、各大學の選手が從來はコーチ仕たのが各大學硬球採用と共にこのコーチが出来なくなつた事一、徴兵令改正と共に從來の如く年長の中學生が減じ一般に年齢の降下と共に選手生活の短き事一、各種入學試験に防げられ中學上級の者の運動忌避より來る選手の質の降下。

等であると自分は思考する、然らば、如何にして、其の弊を除く可きか、この點を一言辯明せねばならぬが其は紙數の都合で又他日にゆする事とする。扱て本大會に於ては如何？ 自分は不幸にして一二を除くの外賞讃に値する選手を見出す事が來なかつた。それが特に前衛に於て著しい。前衛にて眞に前衛らしき者として見る可きは只鷹布中學の北山君位の者だ。それに次いで横商の前衛高崎商業の前衛位なものだ當日の優勝校横濱二中の前衛などはよし優勝戦に於て早實後衛のヤケにつけ込み二三の美技はありたりと云ふものゝ事實は優勝校の前衛としては耻かしい。後衛の打つた球を取る丈が前衛の仕事ではない麻中の北山は流石に昨年後藤と組んで本校の大會に優勝し次いで全國中等學校に優

勝した丈に中學選手の前衛としては殆ど完全に近い最も缺點を暴露したのは早實であつた前衛は當日第一のプレーヤーであつたにも不拘惡戦苦闘漸く殆ど後衛一人の力にて優勝戦迄行き得たるも遂に最後に於て前衛凡失續出の爲め後衛の士氣に惡影響を與へ横商に對したる時の如き元氣は何處へか去り眞につまらぬ優勝戦を演出したのは一つに前衛無能の結果に外ならなかつた。

後衛は割合に相當の者があつた。然しそれも五六の選手を除いては昔日早大高師二校主催の庭球大會當日の選手の面影はない。早實の後衛は麻布の前衛北山と共に當日の白眉であつた。只優勝戦に氣を腐らせて第一ゲームの濟んだ時ボールを地上に叩きつけたのは運動家として面白くない。早實に次いで横商、横濱二中或玉社等の後衛であつた。千葉大成中學の後衛は味なプレーシングに頭の凡ならざるを思はせたが惜しい事に球勢のないのとロビンクに多少の缺點を認めた。横濱二中のバックは見事であつた。當日の優勝は一つに後衛バックの賜と云つても過言ではあるまい。暴言多謝次に仕合で面白かつたのは第四回戦に於ける麻布對横商 準決勝戦に於ける早實對横商であつた。前者は昨年麻布の爲めに横商敗れ此處のコートに涙を流した事がある丈に試合前から人氣を呼んだ。果然試合は最初から白熱した。後衛に強い横商——相當によく働く前衛をもつた——それに前衛に強い麻布！ 兩者は眞に火の様な戦をした。(續き)

文活生活と一際 は優れたる

## ストン式洋服

前番 停八 電九 卷一 鶴一 込町 牛番 東京 電話

地方は十錢切手添・御報次第見本發送



洋服地暴落!!

スタイルの立派と

價格の格安は

東京下谷區谷中藥專前

立教大學指定  
御用  
中野屋洋服店

皆様を

お待ちしております

居ります

カフエールビー

池袋交番西大通り

池袋交番西通

タムラ洋品雜貨店

池袋豐島師範正門前

タムラ洋品文房具店

文化の魁

「ムサシノ」……  
何んと云ふ美しい名でせう  
そこに愛と自由の旗を翻へす  
立教學園こそ  
まことに武蔵野文化の魁です  
「ミドリヤ」……  
何んといふ美しい名でせう  
そこに内外の美をあつめ  
思想を寛めたミドリヤ書店こそ  
まことに池袋文化の魁です  
(ミドリヤ廣告・二)

西洋菓子

紐育ベーカリー

池袋師範學校北隣

しるこ  
萩の餅  
ぞりに

豊島師範横筋

松村

顧問 本居長世先生

音樂教授

池袋二二六六

自由音樂院

簡單に少しの時間で

濟むホール

コーヒ

牛乳

洋菓子

大學地下室ホール

評判のよい日本一の

支那御料理!!

池袋交番西大通り

日本一

どらなる?

オノトを毎日絶間なく使つて十年たつたらどうなる? 買った時より書きよくなる

- オノト 万年筆
- オリオン 万年筆
- アルピオン 万年筆
- ウオーターマン 万年筆
- 万年筆用アテナインク

- 金 八 圓 以上
  - 金 參 圓 五 拾 錢 以上
  - 金 五 圓 以上
  - 金 五 圓 以上
  - 金 四 拾 錢
- 送料各金拾八錢



東京日本橋通

丸善株式會社

- 東京 神田
- 大阪 京都
- 名古屋
- 横濱
- 福岡
- 仙臺